

個別事業(取組)評価				
事業No.	16	施策の柱への位置付け	柱② 教員指導力改革	
事業名称	教員指導力改革実践事業 (中学校英語授業改善プロジェクト事業)		担当課	教育センター
			当初予算額(千円)	1,729
			補正後予算額(千円)	1,180
			決算額(千円)	950

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状 (課題) と その要因	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成21年度の中学2年生の学力定着状況調査によると、全国平均(全国正答率を1とする)と比べ、表現の能力が0.15ポイント、知識・理解が0.10ポイントと全国を下回っている。 ◆ 過去の悉皆研修の実態から、各教員は授業改善の手法は身に付けているが、現状分析や検証方法の理解が不足している。 ◆ 指導主事のサポートの中身や、地域の研究風土が十分でない。 	<p>ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>平成23年度標準学力調査の結果から、中学校英語の学力は、依然全国平均を下回っている。</p> <p>【H23標準学力調査結果(中学3年)】 英語 -0.15ポイント (表現の能力 -0.24ポイント、知識・理解 -0.17ポイント) ※数値は全国平均を1としたときの差</p>
		<p>【要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 中学校3年間を見通して到達目標を設定するといった系統性を持った計画、実践が行われていない。 ◆ 全国の情報が入らず、優れた授業モデルや研究授業に慣れていないことが旧態依然とした授業につながっている。 ◆ 指導主事の力量形成の場が不足している。 	<p>イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>特定できている。</p>
②	目標 (Outcome)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 研修受講者の教科専門力及び授業実践力を向上させる。 <p>【目標数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修アンケート 平均3.0以上(4段階評価) ・ 英語授業力自己評価の前後比較 平均0.3ポイントの上昇(4段階評価) ・ 共通テスト 無解答率10%の減少 <p>【検証(比較)方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 各研修(計8回)でのアンケート調査結果 ◆ 英語授業力自己評価(H21~H23年度同内容)による比較 ◆ 共通テスト(年間2回)の結果分析 	<p>ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <p>目標数値は、過去の英語の研修成果をもとにそれぞれ算出している。</p> <p>エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 研修アンケート結果 平均3.5(4段階評価) ◆ 英語授業力自己評価平均0.2ポイントの上昇(4段階評価) (5月 2.7 →3月 2.9) ◆ 共通テスト 無解答率 中学2年生 46.2%の減少 中学3年生 39.3%の減少 「書くこと」Aレベル 中学3年生 5月 11.5%→2月 30.0%に上昇
		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 生徒の学力向上のための授業力向上研修 ◇ 集合研修(5日間)及び地域研修(3日間)を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教材解釈や授業のビデオ分析 ・ 年間を通じたアクション・リサーチ ・ 地域内グループでの共同研究 ◆ 共通テスト開発研修(ミドルリーダー認定者のみ) ・ 共通テストの開発(3日間) ◆ 指導主事の事前研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導主事のメンタリング情報交換 ・ 大学教員による指導助言 ◆ 英語コミュニケーション能力判定テスト(CASEC)の実施 	<p>オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 生徒の学力向上のための授業力向上研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者数 26名 ◇ 集合研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4/22 「高知県の教育課題」(小中学校課) 「キーセンテンスと本文の扱い方」 講師:関西大学 田尻悟郎教授 ・ 7/26・27「教材の活かし方」 講師:関西大学 田尻悟郎教授 ・ 8/25 「何を目的にどのような授業をするのか」 講師:国分寺市立第一中学校 相沢秀和主任教諭 ・ 12/26 所属校における実践研修のまとめ等 ◇ 地域研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6/17 「授業の見取り方(小学校編)」「共通テスト分析」 ・ 10/28 「授業の見取り方(高等学校編)」 ・ 3/1、2、5 「共通テスト結果分析」「ARの検証、次年度に向けて」 ◆ 共通テスト開発研修(ミドルリーダー認定者のみ) <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者数 6名 ・ 6/13、8/26、10/27 共通テスト作成 ◆ メンタリング研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 9/12 佐賀大学 横溝紳一郎教授(指導主事6名参加) ・ 3/6 横浜国立大学 佐野正之名誉教授(指導主事7名参加) ◆ 英語コミュニケーション能力判定テスト(CASEC)5月~2月実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者32名受検

総合評価 と 今後の方向	目標達成度 B 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/>	<p>【今後の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 受講者が幅広い授業展開を行えるよう、演習形式やグループワークを増やして、実践力の一層の向上を図る。 ◆ 個人のアクションリサーチの中身を充実させるために、共同研究ではなく個人のテーマについて共同で協議する研修とする。
	<p>【総合評価】</p> <p>研修受講者の満足度は高く、アクションリサーチによる授業改善や共同研究において、意識と行動面で前向きな変化が見られ、同僚性も生まれてきている。これに伴い、中学校2・3年生で実施した共通テストの無解答率が大きく減少し、学力向上においても一定の成果が得られた。</p>	